

2022/8/16

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(8月8日～8月12日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,305.0	1,311.0	1,297.0	1,302.4	+4.1
JPY/KRW	9.6296	9.8100	9.6277	9.7653	+0.021
KOSPI	2,481.17	2,533.20	2,477.76	2,527.94	+37.14

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上に行ってこい。良好な米雇用総計を受け9月FOMCでの0.75%利上げが市場で織り込まれたこと等あり、8日のドル/ウォンは前週から大幅に上昇した1305.0ウォンにてオープン。その後は9日にかけて目新しい材料に欠け動意薄となる中、ドル/ウォンは狭いレンジにて推移した。9日海外時間には複数の米半導体企業から業績見通しの引き下げが発表される等、市場のリスクセンチメントが悪化するとリスクオフのドル買いとなりドル/ウォンは上昇。10日の米7月CPIを前に調整売りも入り、10日にドル/ウォンは週高値1,311.0まで上昇した。しかし、米7月CPIが市場予想比落ち着いた結果になると、11日朝方には1,297.0まで急落。結局、先週末対比0.8ウォン下落した1,298.3ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。中国の予想外の利下げがきっかけとなり、ウォンも連れ安となっている。さらに、市場全体でもFED高官からは利上げ速度の緩和を期待する市場の流れをけん制する発言も出ており、期待インフレ率の低下を背景に米金利低下を期待する相場は終わりつつある。さらに、半導体業界の業績見直し引き下げが相次いで報道される中、原油価格の下落を除いてウォンが買われる理由が乏しい印象だ。かかる中、ドル/ウォンは直近高値1,326.7を目指して徐々に上昇していく相場を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1300 ~ 1330	9.75 ~ 10.05	132.0 ~ 134.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 15日(月) 日 6月 鉱工業指数 確報値
米 8月 NY連銀製造業指数
中 7月 鉱工業生産
中 7月 小売売上高
日 2Q GDP 速報値
- 16日(火) 米 7月 住宅着工件数
米 7月 鉱工業生産
- 17日(水) 欧 2Q GDP 改定値
日 7月 貿易統計
米 7月 小売売上高
日 6月 機械受注
米 FOMC議事録
- 18日(木) 欧 7月 CPI 確報値
米 7月 中古住宅販売件数
- 19日(金) 日 7月 CPI